

部 局 経 営 方 針

平成22年度

薩摩川内市

部局名	市民福祉部 環境対策監	部局長名	田 畑 逸 郎
------------	-------------	-------------	---------

部局内の 経営資源	当初予算	38.5億円		
	構成人員	職員	嘱託	計
	27人	2人	29人	

①部局の使命 (組織の存在価値)	環境関係業務の使命は、誰もが快適な生活を維持し安心して暮らせるまちづくりを目指すことである。 (1) 自然との共生を実現する。 (2) 環境への負荷の少ない循環型社会を構築する。	②組織目標像	【施策の目標像】 (1) 環境保全の体制が確立している。 (2) ごみ減量化, リサイクル推進の意識が根づいている。 (3) 一般廃棄物処理施設が整備され適正処理されている。 【組織の目標像】 (1) 市民・事業者・地域及び関係団体と連携がとれている。 (2) 市民のニーズにスピーディかつ的確に対応できる組織
-----------------------------	---	---------------	---

平成22年度の重点事項と目標達成に向けた主な取組内容

③重点事項	④具体的な成果目標(めざそう値)	⑤具体的な取組内容	⑥進捗状況(年度中間)	⑧年度末の達成状況
(1) 環境の保全 【環境課】	(1) ラムサール条約登録湿地の藺牟田池の保全	①水質・底質調査の実施(継続) ②池内の生物調査の実施 ③ビオトープの設置 ④外来魚リリース禁止の啓発, 回収事業の実施(継続) ⑤外来魚駆除体制の確立	○ ①環境調査業務委託発注済(春季・夏季), 底質調査済 ○ ②生物調査(春→夏, 調査済) ○ ③ビオトープ候補地の用地交渉(契約済) ○ ④外来魚回収業務委託発注済 啓発用回収袋の設置 回収状況(9月末) ブラックバス: 96匹 ブルーギル: 2,109匹 ライギョ: 22匹 △ ⑤保全連絡会未開催	○ ①環境調査業務委託実施済(水質, 底質, 気象等)。 ○ ②生物調査実施済 ○ ③ビオトープ候補地の用地取得済み ビオトープ設置工事執行委託により発注済 ○ ④外来魚回収業務委託実施済。 ・啓発用回収袋の設置 ・回収状況(3月末) ブラックバス: 113匹 ブルーギル: 3,946匹 ライギョ: 27匹 ○ ⑤保全連絡会(H23.03.22開催)

平成22年度

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

	(2) 環境家計簿の市民への配布	①広報紙に折込み全世帯に簡易な環境家計簿を配布し、地球温暖化防止の意識の啓発を図る。	○ ①広報薩摩川内 5/10 号で折り込み配布済み。(実証未確認)	○ ①広報薩摩川内 5 月 1 0 日号に織り込み、配布済み。(H23.2.27 アンケート実施集計済み)
	(3) 環境美化活動の推進	①環境美化推進員設置と連携 ②広報及びパトロールの実施 ③快適環境づくり補助金の周知 ④衛生自治団体連合会との連携による美化活動の支援	△ ①H21.4.1に美化推進員任命。本年度2年目。連携の確認。 ○ ②広報薩摩川内 5/25 号に掲載済。5/31～6/4の1週間、環境美化推進員と市職員合同による不法投棄パトロールを実施した。 ○ ③4/25の自治会運営説明会で周知。 ○ ④ボランティア袋の配布や清掃ボランティア活動補助金を拠出してもらっている。	○ ①平成23年2月に研修会を開催し、美化推進委員との連携を図った。 ○ ②広報薩摩川内 5 月 2 5 日号に掲載済み。5 月 3 1 日から 6 月 4 日の 1 週間、環境美化推進員と市職員合同による不法投棄パトロールを実施した。 ○ ③4月25日開催の自治会運営説明会で周知済み。 ○ ④ボランティア袋の配布や清掃ボランティア活動補助金を拠出してもらい、市民に活用されている。
(2) ごみ減量化・リサイクルの推進 【環境課】	(1) ごみ分別の徹底	①広報紙・リサイクル研修会等によるごみ分別の周知 ②リサイクル推進員を配置し分別の指導・周知 ③自治会未加入者対策として公設ステーションでの指導・周知	○ ①衛自連だより 7 月号でごみ分別の周知を行った。 ○ ②5/13～5/20にかけて研修会を実施した。 ○ ③シルバー人材センターに委託して指導をしている。	○ ①衛自連だより、7月号、2月号でごみの分別や環境マナーについて掲載し周知を行った。 ○ ②5月13日から5月20日にかけて研修会を実施した。 ○ ③シルバー人材センターに委託して指導をしている。

部 局 経 営 方 針

薩摩川内市

平成22年度

<p>(3) 施設の整備と健全な稼働 【環境課】 【環境施設整備室】 【川内クリーンセンター】 【川内環境センター】</p>	<p>(1) 汚泥再生処理センターの整備</p>	<p>① 工事施工監理 ② 各種届出・申請 ③ 実施設計書等審査 ④ 地元要望事業の実施</p>	<p>○ ①造成工事，地盤改良工事，地下水槽躯体掘削工事等の施工監理を行った。 ○ ②危険物貯蔵所設置許可申請書を消防局へ届け出る。ダイオキシン類対策特別措置法の規定による特定施設設置届を県へ提出する。 ○ ③実施設計書の変更についての審査を行った。 ○ ④5件の要望事業中，9月迄の事業2件は実施済。</p>	<p>○ ①地下水槽躯体工事，地下水槽の水張り確認検査，鉄骨建方工事，炭化設備機器設置工事等の施工管理を行った。（全体事業進捗率47.7%） ○ ②ばい煙届出，機械等設置届（乾燥設備），炉・乾燥設備設置届けを提出。 ○ ③実施設計書の変更についての審査を行った。 ○ ④残り3件の地元要望については，年度内に完了した。</p>
	<p>(2) 施設の健全な稼働</p>	<p>①定期点検等による施設の適正な能力の確保</p>	<p>○ 【川内環境センター】 ・各設備について，計画的な点検，補修を行い，施設の適正な能力の確保に努めている。 ○ 【川内クリーンセンター】 ・各施設について，計画的に点検補修を実施し，施設の適正な能力の確保に努めている。 ○ 【下甌環境センター】 ・各設備について，計画的な点検，補修を行い，施設の適正な能力の確保に努めている。</p>	<p>○ 【川内環境センター】 ・各設備について，計画的に点検補修を実施し，施設の適正な能力の確保に努めた。 ○ 【川内クリーンセンター】 ・各設備について，計画的に点検補修を実施し，施設の適正な能力の確保に努めた。 ○ 【下甌環境センター】 ・各設備について，計画的に点検補修を実施し，施設の適正な能力の確保に努めた。</p>

部 局 経 営 方 針

平成 2 2 年度

薩摩川内市

	(3) 最終処分場の整備	①平成 26 年供用開始に向けた新たな最終処分場整備について実計で検討する。	○	①残容量を考慮し、平成 26 年度供用開始に向けて実計に要求している。	□	① 成 2 3 年度の実施計画で再度検討する。
⑦年度中間総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね計画とおりの取り組みが出来ており、後期も早めの取り組みを継続していく。 ・ 課内各グループの応援態勢を進めながら、今後も積極的な取り組みを継続していく。 					
⑨年度末総括	<ul style="list-style-type: none"> ・ 概ね計画とおり達成している。目標達成できた事業については、その継続を進め、未達成事業は平成 2 2 年度の目標設定を検証し、平成 2 3 年度で確実に遂行できる目標設定を行い、目標達成ができるように努める。 ・ 汚泥再生処理センター施設整備建設工事については、スケジュールどおり順調に進捗している。それと並行して実施している、プラント機器の製作及び工場検査についても年度内の完成を見込んでいたが、3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により、一部の製品の検査が出来ない状況となったが、平成 2 4 年 3 月 3 1 日竣工についての影響はない。 ・ 一昨年の藺牟田池の渇水の影響により、ベッコウトンボの発生数が減少したため、渇水でも繁殖できるようビオトープを設置する。(繰越明許費設定) 今後自然観察会等を通じて、藺牟田池の生態系の重要性、自然環境保全の重要性を伝える場として活用したい。 					